

県下の交通事故 (8月31日現在)

区分	発生件数	死者	傷者
年別			
平成4年	3,285件	92人	4,347人
" 5年	3,483件	59人	4,626人
比較	+6.0%	-35.9%	+6.4%



◇ 第101号 ◇

発行所
〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
県民会館2階
財団法人 山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 32-4682
(0552) 37-7827

秋の全国交通安全運動

9月21日(火)～9月30日(木)

ふれあいとゆとりでつなごう無事故の輪

秋の全国交通安全運動が九月二十一日(火)から三十日(木)までの十日間、全国一斉に行われます。この運動は、秋の行楽シーズンを迎え、交通量が増し交通事故の多発が懸念されることから、県民一人ひとりに交通安全意識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実施を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われるものです。

悲願、年間死者2ケタへ

今年の全国の交通死亡事故発生状況は、八月末現在、六千九百四十七人で、昨年同期より三百人減少しています。八月までの死者数は、月平均に換算すると八百六十八人なので、このペースのままですと、残る四カ月は、おおよそ死者数は、八月末現在で五十九人、前年比二十五人の大幅減となっていますが、全事故の発生件数は三千四百八十三件で、百九十八件増、傷者は四千人増となっています。毎年下半期に死亡事故が増えること、それも九月以降、年が押し詰まるにつれて、若者による無謀運転の増加が懸念されています。

運動の重点目標

一、高齢者の交通事故防止
二、シートベルトの着用の徹底
三、違法駐車等の締め出し
四、若者による無謀運転の追放
五、暴走族追放の推進



安全のために
現在の社会は、国民生活にさまざまな恩恵を与えていますが、他方、交通事故や交通渋滞、排気ガス、騒音等の交通公害を生じさせています。特に、交通事故による犠牲者は、全国では平成元年以降四年連続して一万一千人を超え、また県内でも昨年は、昭和四十九年以降最悪の百五十三人を数えており、誠に憂慮すべき状況にあります。

自動車交通は、県民生活の安定と向上を図るための基盤であり、また、地域の発展に欠かすことのできない重要な役割を果たしているのですが、一歩誤れば尊い命を奪い、家庭を不幸におとし入れるものともなり

運転は「思いやりの心」で

県警交通部長 古屋 斌

変換しい交通環境にあると警署といたしましては、皆様のご理解とご協力を得ながら、県民の尊い生命を輪禍から守ることを最重点に各種施策を推進してまいりますが、本年八月末の交通事故発生状況をみると、機



交際死亡事故の特徴をみると、①工作物衝突や路外逸脱等車両単独事故が多いこと、②シートベルトの着用率が極めて低いこと、③上半期の交通事故犠牲者のうち、シートベルト着用義務者の二十五人中、

▼交通安全の原因は、スピードの出過ぎなど無謀運転によるものがほとんどです。安全運転をしていてもこうした車に突っ込まれればどうしようもありません。事故に遭わない走り方、事故を避ける方法をくふうしてみたいかがでしょう。

て急激に増加していく傾向がみられますので、お互いに十分注意し、昭和五十九年以來十一年間続いていた交通死者三桁を、今年こそ二桁にしましょう。

●「運動の重点目標」は、一、三番目までは全国一斉に、四、五番目は県内の特性から掲げられたものです。

●高齢者の交通事故は増え続けています。特に、夜間歩行中に車にはねられる事故が多く三三・五%にも上っています。

●シートベルトの着用率は低く、死亡事故では一七%しか着用していません。未着用者が全員着用して

●若者による無謀運転が大きな事故を起こしています。十六歳から二十四歳までの若者が第一当事者となった死亡事故は十六件もあり、全死亡事故の三二%にも達しています。

●暴走族による爆音走行、道一杯に広がったの身勝手走行などで大勢が迷惑しています。各地区安協が暴走族追放宣言をして運動に盛り上げましょう。

●暗い夏でしたが交通事故発生件数が増え、なかには死亡事故と紙一重という事故も数多くあったようです。毎年下半期の死亡事故は上半期の二割増しといわれていますが、現に七、八月中の死者数は上半期の月間最高値を上回っており、増勢のキザンとも受け止められ心配されます。

▼これから年末にかけて、さらに危険度が高まっています。交通安全意識を高め、安全運転をして事故を起こさないようにすることは当然のことですが、さらに、被害にかならない、自らを被害から守る防衛運転を心がけてほしいと提言いたします。

▼交通事故の原因は、スピードの出過ぎなど無謀運転によるものがほとんどです。安全運転をしていてもこうした車に突っ込まれればどうしようもありません。事故に遭わない走り方、事故を避ける方法をくふうしてみたいかがでしょう。



▼今年の夏は暗い夏でした。紺碧の青空、焼けつくような太陽の光が甲府盆地を覆った日は数えるほどでした。

見える は安全サイン

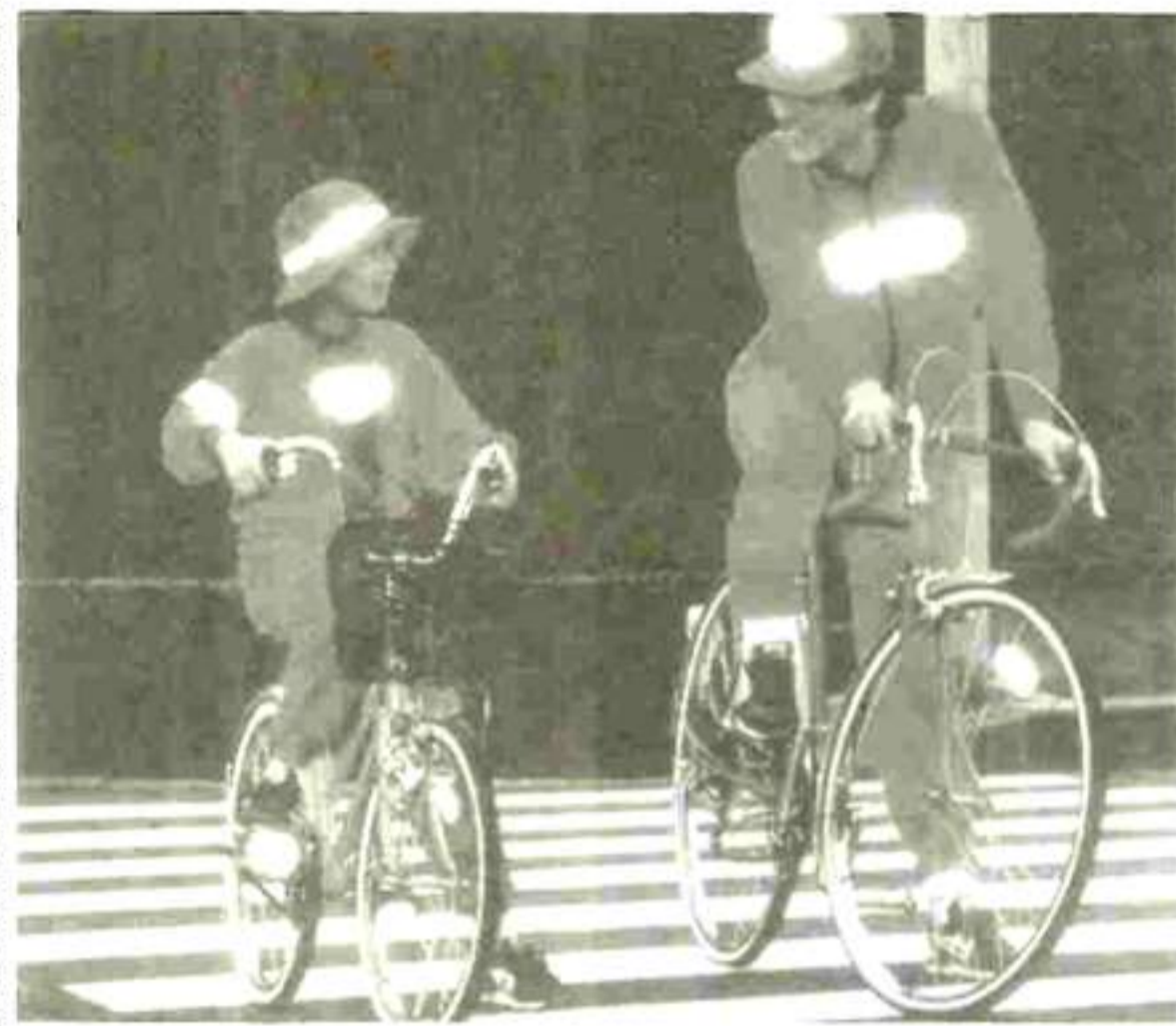
歩行者・自転車用反射材

安価で良質な26品目

地区安協窓口へ

夜間の歩行者・自転車の交通事故を防ぐためには、ドライバーの視認性を高める反射材の活用が有効ですが、これまで個人が買いたくとも販売所もなく、折に触れて交通関係団体が一括購入し無償配布を行う

度で、反射材の有効活用は、いまひとつという状況にありましたが、このため全日本交通安全協会では、本年三月二十六日、大手の反射材メーカーや販売会社を糾合して設立された「全国反射材普及促進協議会」が開



発、製作した製品のうちから、安価で良質な反射材を厳選し、これを全日交協の反射材として、県安協が中心となり、地区安協を通じて必要とされる方に有償頒布することになりました。現在全日交が斡旋している反射材は、靴底に貼る「シューライト」、マジック

高齢者は反射材の活用を

平成五年 夜の歩行者・自転車事故増加

県内での夜間における交通事故は、七月末現在、総発生件数二千九百九十九件のうち九百六十四件、構成率は三二・一％で、昨年同期より七十六％、構成率で〇・六ポイント増えています。

八月末現在の死亡事故についてみると、死者五十九人のうち夜間歩行者中にはねられて亡くなった人は十人で、昨年同期より一八減っています。六十五歳以上

の高齢者はその五〇％にあたる五人で、昨年より二人増、構成率では二五％も増えています。

高齢者について男女別にみると、昨年の死者三人全員が男性であるのに対し、今年には五人のうち二人が女性で、男女を問わず高齢者の夜間の行動が増えているといえます。

これからは日没が早まり夜が長くなっていきますが、昨年の九月十二月までの死亡を改めて書いてあります。そして、残された家族はどのようなのですか、という質問に「自分一人だけの体ではない」ということを改めて認識したと書いて下さったのです。私の思いが伝わったことがうれしくて、私の心は喜びで一杯になりました。その時私は、運転手さんに、いつまでも元気で頑張って欲しいと心の中で願っていました。

私は、すべてのドライバーさんに、事故の重大さを再認識してもらおうと同時に、事故に合わぬよう心掛けて欲しいと思います。(市川高校一年四組)

者六十一人のうち、夜間歩行者の死者は九人、このうち七人が高齢者で、七八％にも達しています。

夜外出されるときは、必ず反射材を身につけることを習慣づけてください。ドライバーによく見えるようにすることが必要です。

TSマークで安心
自転車の整備点検
「TSマーク」の意味は、「交通安全」を意味する英語の頭文字をとったもので、正しく整備され、安全に機能する自転車にこの「TSマーク」が貼られます。

この「マーク」は、新車購入の時、あるいは点検整備をしてもらった時に申し出をすれば貼ってくれます。この「マーク」が貼ってある自転車に乗って、交通安全に遭った時は、被害者加害者を問わず内容に応じて一定の補償がなされます。補償の内容と取扱店の表示は別掲のとおりです。



区分	入院31日以上(一律)	死亡(1級)	障害(1級)	賠償責任(限度額)
1種(青色)	1万円	30万円	500万円	
2種(赤色)	10万円	100万円	1,000万円	

平成6年度 年間スローガンとポスターデザイン

全日本交通安全協会と毎日新聞社では、平成6年度に使用する交通安全年間スローガン(標語)とポスターを募集しています。奮って応募してください。

募集要領
一、募集の重点テーマ
(一)一般部門
▽運転者(同乗者も)向け
○シートベルト着用の徹底(チャイルドシートも)
○若者を中心とした無謀運転の防止(運転マナーの向上)

▽歩行者・自転車向け
○正しい横断の励行(高齢者の交通安全)○自転車の正しい乗り方(夜間の事故防止(反射材活用等))
(二)子ども部門
○小学生自身に交通安全を呼びかけるもの
一、応募資格と方法
(一)一般部門
普通はかきに一スローガン。応募部門、住所、氏名、年令、職業(学校名)、電話番号を明記。自作、未発表のものに限る。応募数に制限はない。
(二)子ども部門
小学生に限る。
普通はかき一枚に一スローガン。応募部門、学校名、同所在地、電話番号、学年、氏名を明記。自作未発表のものに限る。応募数に制限はない。

三、応募期限
平成五年九月三十日(休)まで(当日消印有効)
四、送り先
〒一〇〇一九一 東京都中央郵便局私書箱三八号、毎日新聞社文化事業部「交通安全年間スローガン」係
五、発表
平成五年十二月初旬の毎日新聞紙上とNHKテレビ・ラジオによる。

六、賞
○最優秀賞(計三賞) 総理大臣賞状と賞金十万円以下総務局長賞(計三賞)
○文部大臣奨励賞(計二賞) 総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

一、募集期間
総理大臣賞受賞スローガン発表の平成五年十二月上旬から平成六年二月上旬必着まで
二、応募内容
○運転者、歩行者、自転車利用者に対するもの。
○必ず総理大臣受賞スローガンが原文のまま入っていること。
三、応募資格と方法
(一)一般部門
○一般、学生、小中学生も可。
○B2判(五一五×七八二ミリ)タテ型。
(二)子ども部門
○小・中学生に限る。
○四ツ切画用紙(五四〇×三八〇ミリ)タテ、ヨコ型自由
(その他)
○いずれもパネル、または厚紙に貼り、郵送時の折り曲げがないようにする。
○レタリング、イラストレーション、写真のデザイン化も自由。
○主催者が入るスペースを残すこと。
○版権は主催者に属し、加筆修正もある。返却しない。
○創作、未発表のものに限る。一人何点でも可。
四、送り先
住所、氏名、年令、職業(学校名)、電話番号を明記した応募表(自作可)を付して
〒一〇〇一九一 東京都千代田区一ツ橋一〇〇一毎日新聞東京本社文化事業部「交通安全ポスター」係

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

係(電)〇三三二二一〇一八七
五、発表
平成六年二月下旬

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

係(電)〇三三二二一〇一八七
五、発表
平成六年二月下旬

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

六、賞
最優秀賞(計三賞)に総理大臣賞状と二〇万円、以下総務局長賞、警察局長賞等が贈られる。

数年前、私の祖母は交通事故によって、かけ替えない、大切な姉を亡くしました。その時の祖母の顔は、私が今でも見たことのない悲しい顔でした。私は、今でもその時の祖母の涙と悲しきで一杯の顔が、忘れられないのです。

害者となった祖母の姉も、よく注意して渡らなかつたのかもしれないのですが、加害者となったドライバーさんも、前を良く見ていなかったのです。一瞬の事故によって、加害者も被害者の家族も不幸なりました。

うか。私たちは、いつ事故にあってもおかしくないのです。つまり、事故とはいも隣り合わせなのです。一度失われた命は、絶対に帰ってこない。と知っていながら、つい油断してしまうのです。

この質問に対してどのよう返事をしてくれましたか。私の手紙は、ある高速道路で配られたそうです。それから数週間たったある日、学校へバスの運転手さんから私あてに手紙が届いたのでした。私の心が通じたのか、返事までくれたうえ、私の気になっていた質問にも、しっかりと答えてくれたのでした。

その手紙には、「ルミさん、ありがとう。」と感謝

ところ、私は小学校五年生の時に、「運転手さんへ」という題で、交通安全運動期間中に配られる手紙を書きました。その時私は、誰に渡るのか、また読んでもらえるのかさえないから手紙に向かかって、「もしド

第九回全国学生・高校生作文コンクール 佳作入選作品
ドライバーさんからの返事
山田 ルミ

交通事故
ご相談
電話：0552-28-8355 (直通)
社団法人 日本損害保険協会
甲府自動車保険請求相談センター
甲府市丸の内2-1-6 住友生命山梨ビル3階 甲府駐在事務所内 0552-28-8310

自動車や原付自転車には必ず任意の損害保険代理店 株式会社たいよう共済山梨支店
甲府市丸の内2丁目32-13 山梨ビル4階 TEL. 0552-28-0691

甲府自動車保険請求センター (住友生命山梨ビル3階)
電話：0552-28-8355 (直通)
社団法人 日本損害保険協会
甲府自動車保険請求相談センター
甲府市丸の内2-1-6 住友生命山梨ビル3階 甲府駐在事務所内 0552-28-8310



係(電)〇三三二二一〇一八七
五、発表
平成六年二月下旬



県下各地区安協では、地域の交通事故防止のため、熱心に取り組んでいます。日常活動の参考にしてください。

暴走族追放

続々と宣言 諏沢・南甲府安協

毎年夏場になると轟音を立てて走り回る暴走族の無軌道走行に悩まされます。今年は、そんな暴走族は絶対に許さないと、地区安協では警察と一体となって暴走族追放運動に立ち上がっています。



日開催した平成五年度定期総会の中で、地域住民総参加による暴走族の追放と次代を担う青少年の健全育成を内容とする「暴走族追放宣言」を満場一致で採択し、来賓として出席されていた県警本部小池正一交通部長



「話し合おう」の看板。右側通行の道に「右側通行」の看板を設置し、暴走族の追放運動の一環として、八月四日と二十二日の両日、支部

員計六十人が出勤し、双葉町内のカーブミラー柱への反射材の貼布や木の枝切り、白線引きなどを行い、良好な道路環境づくりに取り組まれました。

ミラー柱へ

反射テープ

非崎交通安全協会(会長 山寺嘉一郎)の塩崎支部(支部長小林秀三)と登美支部(支部長古畑茂)は、夏の交通安全県民運動での活動の一環として、八月四日と二十二日の両日、支部

全役員の車両に三角布常備

市川安協で講習会

市川交通安全協会(会長



津悦夫署長に柳沢会長が宣言文を朗読して手渡し、諏沢安協の決意を表明しました。▼南甲府交通安全協会(会長向井菊蔵)は六月二十九日平成五年度の定期総会を開催し、暴走族追放宣

員計六十人が出勤し、双葉町内のカーブミラー柱への反射材の貼布や木の枝切り、白線引きなどを行い、良好な道路環境づくりに取り組まれました。

映画紹介

「運転者向け」

「路上に潜む危険」
16ミリ・カラー・28分
オートバイが人を、バックしているトラックが原付を、交差点で右折中の乗用車と直進乗用車の衝突、雨の日の乗用車とトラックの事故等々、24時間待機による取材を通して事故現場の生の声から原因をたどる。他人の立場になって行動すること、事故は他人事でないことを訴えています。

「より確かな安全運転のために」
16ミリ・カラー・24分
危険を予知しても、その情報を的確に採用して安全運転に結びつけることができないと事故になってしま

「お地蔵さんになった三姉妹」
16ミリ・カラー・30分
平成三年十一月の朝七時頃、登校中の仲良し三姉妹が、運転歴七カ月の十九歳の少年の運転する猛スピードの車にはねられ死亡、少年は二年以上三年以下の実刑判決を受けて服役、両親は現場に三体のお地蔵さんを祭りました。以来一年半近く、死亡事故は起きていないというドキュメンタリー映画です。

「子どもの向け」
「みかんの交通安全」
16ミリ・カラー・アニメ・14分
人間の言葉を話し、書くこともできるオレンジ色をしたネコが主人公で、道路の横断の仕方、飛び出しの危険性など、交通安全のルールを楽しく教えてくれます。

「恐怖の検証」

16ミリ・カラー・28分

「高齢者向け」

「落語長屋のお年寄りの交通安全」
16ミリ・カラー・25分
古典落語「粗忽長屋」を交通事故に仕立て直してのお笑いです。隠居を掛歌丸熊さんを三遊亭小遊三、八さんを桂才賀が演じて、お年寄りの交通事故、特に多い歩行中の事故を中心に、その対策を考え、ルールとマナーを守る大切さを訴えています。

高等学校での原付講習終了

33校で原付講習
県二輪車安全運転推進委員会では、県教育委員会の協力のもと、四月から行ってきた平成五年度の高校生原付実技講習会を七月十七日の増穂商業高校を最後に終了しました。この講習会は、毎年県下の高等学校へ呼びかけて希望を募り、県二輪車安全運転推進委員会の指導員が希望校へ出向き、約二時間にわたって原付自転車の安全な乗り方について指導するものです。

今年度は四月二十三日から七月十七日までの間に、県下四十七校のうち講習を希望する三十三校(七〇%)、一万七千七百七十七人の高校生に対し、警察官五十四人、指導員百六十六人で指導にあたりました。終了後のアンケートでは「正しい乗り方がよくわかった」「親切丁寧でわかりやすかった」「次回も参加したい」等々好評でした。

編集局だより

○ご愛読いただいている「交差点」の筆者が、百一号から交替しました。文才もなく前任者のような心にひびくような文章は書けません。が、頑張りますのでよろしく願います。

交通安全映画の集い

非崎安協 竜岡支部で
非崎交通安全協会(会長 山寺嘉一郎)の竜岡支部(支部長五味勇)では、夏の交通安全防止県民運動の一環として、夏休み期間中の子供の交通安全防止のため、交通安全教室と映画の集いを開きました。

公民館、八月六日石宮公民館、八月九日坂ノ上公民館、八月十一日若尾新田公民館の五カ所でもともに午後七時三十分から午後九時まで計五回にわたって開かれ、約三百五十人が参加しました。この集いには、地元区長も同席、非崎署警官の交通講話と映画「交通安全の悲劇」が上映され、交通事故の恐ろしさを再確認し、交通安全の思いを新たにしました。



八月三日の越道公民館を皮切りに、八月四日マクス